



第六十二回 神宮式年遷宮 記録映画上映会

日時

平成26年

11月8日(土) 17:00より〈総集編・御木曳篇〉

9日(日) 17:00より〈総集編・御装束神宝篇〉

10日(月) 18:00より〈総集編・建築篇〉

場所

神宮会館大講堂 伊勢市宇治中之切町152
Tel. 0596-22-0001

●入場無料 ●各回定員850人／先着順(申込等不要)

●先着500名様に記念品を進呈致します。

●各日とも無料駐車場あり

神宮会館駐車場

観覧者には会場にて駐車券と引き替えに無料駐車券をお渡します。

市営駐車場(内宮前・宇治浦田)

観覧者に配布される「上映の葉」を、出庫前に駐車場内の管理事務所へ提示すると、無料処理を受けることができます。

●当日会場にて記録映画のDVD(全6巻)販売予定。



主催：神宮司庁

後援：三重県神社庁／三重県神社総代会／伊勢神宮崇敬会／伊勢市／伊勢市教育委員会／
伊勢市観光協会／伊勢商工会議所／御遷宮対策事務局／伊勢青年会議所／伊勢市総連合自治会

問い合わせ：神宮司庁 広報室
〒516-0023 三重県伊勢市宇治館町1
Tel. 0596-24-1111(代)
<http://www.isejingu.or.jp/>





第六十二回 神宮式年遷宮 記録DVD発売

平成25年秋に斎行された第62回神宮式年遷宮。「皇家第一の重事、神宮無双の大嘗」といわれる式年遷宮は、8年の歳月をかけ、30以上のお祭りや行事を重ね、当代最高の技を結集して行われます。

御杣山から御用材を伐りだして清らかな社殿を建て、御装束や神宝を新調し、神様に御遷りいただく—その全てを記録したDVDが発売されます。公式撮影による美しい記録映像を、テーマごとに分かりやすく編集した6本のDVDにより、第62回神宮式年遷宮の全貌が明らかになります。



制作・著作 神宮司庁 神宮式年造営庁
各巻 2,000円(税込み)

販売 神宮会館(伊勢市宇治中之切町152 Tel.0596-22-0001)

御神木篇

遷宮最初のお祭りは、平成17年5月、御用材の伐採と搬出の安全を祈る山口祭から始まりました。御用材は、御杣始祭を行ったのち、木曾の御杣山から伐り出され、神域へと運び込まれます。中でも、御樋代となる御用材(御樋代木)は、「御神木」と呼ばれ、多くの人々の奉祝を受けて伊勢まで運ばれました。



御木曳篇

「御木曳」は、古くから神宮お膝元の伊勢市民たちが「エンヤ!」の掛け声も勇ましく御用材を神域へと運び込む行事です。内宮領は御用材をそりに載せて五十鈴川を渡る「川曳^{かわびき}」で、外宮領は奉曳車で陸路を進む「陸曳^{おかびき}」で神域を目指します。全国から集まった「一日神領民」もお木を曳きました。



御装束神宝篇

遷宮に際しては、神様の調度品、服飾品など714種、1576点の御装束神宝が古式ゆかしく調製されます。その歴史は、持統天皇4年(690)に行われた第一回式年遷宮に始まります。古代の文化と技術を現代に伝え、今回も当代一流の名工が心と技を尽くして調製に当たりました。



建築篇

神宮の社殿は、直線を基調とした簡素な神明造。「天から降った」と評される美しさです。日本古来の建築様式であり、古代の建築技術が今も脈々と伝わっています。造営の節目には、山口祭、御杣始祭、木造始祭…と数多くのお祭りが重ねられ、輝くばかりの新社殿が竣工されました。



遷御篇

式年遷宮のクライマックスともいべき3日間の遷御祭。御装束神宝読合・川原大祓・遷御・大御饗・奉幣・御神楽など、多くの祭儀が斎行されました。色とりどりの装束に身を包んだ神職によるお祭りの様子は、遷宮ならではの厳かな華やかさ。夕刻の川原大祓、夜の渡御など張りつめた空気感が伝わります。



総集篇

平成17年1月、神宮式年造営庁が発足。その初夏に山口祭が行われて以来、立柱祭、上棟祭などの諸祭が重ねられました。御木曳や御白石持行事に伊勢の町は湧き、一方で御装束神宝の調製が進められ、そして新宮に大御神が遷られます。当度遷宮を受けての天皇皇后両陛下、東宮ご一家の晴れやかな行幸啓までが収録されています。

